



同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会

平成29年4月19日発行 第29号

<https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>

江戸川総合人生大学同窓会設立 10周年にむけて

同窓会会長 前田直義

江戸川総合人生大学同窓会は平成20年4月に設立され、来年設立10周年を迎えることとなります。



1. 設立10周年記念行事・記念企画

同窓会では「同窓会設立10周年記念イベント実行委員会」（委員長：田中繁雄副会長）を立ち上げ、記念イベントの計画を練っているところです。

平成26年10月には「江戸川総合人生大学開学10周年を祝う会」を実施し、多くの方にご参加いただきました。今度は自分たちの10周年を祝う会になります。

もっと盛大に、もっと楽しく、開催したいと思っています（会場の関係などから10月の総会時に同時開催を予定しています）。

今後逐次ご連絡していきますので、楽しみにお待ち下さい。



開学10周年を祝う会

2. 10周年に向けて会員の声を募集！

来年度は10周年節目の年として、同窓会活動全般にわたって新しい企画や行事に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご意見・ご提案を心からお待ちしています。



同窓会 第5回 総会

江戸川総合人生大学同窓会会報
第1号 平成20年10月1日発行

同窓会だより 創刊号

三期生卒業式(9月9日)

オープンキャンパス2008(7月6日)

会長挨拶

同窓会会長 鈴木 圭一郎

秋たけなわの候、会員皆様には、益々ご健勝にて、ご活躍のことをご推察致します。

同窓会は、九月九日に卒業された第三期生会員を迎え、益々活気づいてきました。

この度、同窓会では、年々会員が増加することに鑑み、同窓会の活動や動向を、広く会員皆様にお知らせし、情報の共有化を図る目的で、会報「同窓会だより」を発行する運びとなりました。

同窓会も発足間もなく、同窓会の動向など皆様からのご意見等を賜りながら、今後の基礎固めの一助になることを期待し、年三回の発行を計画しております。

皆様から親しまれる会報を目指し、会員皆様との情報交換の媒体となることを願っております。

「同窓会だより」のご愛読と、積極的なご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「同窓会だより」創刊号

地域包括ケアシステム 「なごみの家」

誰もができる限り長く、住み慣れた地域で生き生きと暮らせることを目指す地域包括ケアシステム。その拠点として、昨年5月、区内3カ所（小岩・中央・葛西）に「なごみの家」がオープンしました。今回はその支援会議に参加している会員からの報告をご紹介します。

※4カ所目として、4月1日（土）に「なごみの家 鹿骨」がオープンしました。

《小岩地区》



「なごみの家 小岩」は毎週火曜日10時30分から「らくらくストレッチ」、金曜日13時30分から「脳活体操」、第3水曜日夕方から「子ども食堂」などのイベントで気軽に立ち寄って楽しめるサロンとして多くの区民に利用されています。

第3回目の地域支援会議が2月28日（火）小岩図書館で開催されました。前回の地域の課題を再確認し、「理想の小岩をどんな町にしたいか」についてグループで話し合いました。

各グループから安全・安心、楽しく暮らせる、笑顔で声掛け、人に優しい、気楽に話せる町になどの報告がありました。



《中央地区（松江北）》

「なごみの家 松江北」は昨年5月の開設以来、平成28年12月31日現在、来館者数はのべ3,629人、相談件数290件でした。

松江北の支援会議は2月24日（金）に3回目が開催されました。今回は「理想の町」について、7グループに分かれて話し合い、松江北地域の方針が決まりました。

「人と人がつながる、挨拶のある、安全・安心な町」このような松江北地域になるには、現実の課題（第2回で話し合いました）にどのように取り組めばいいのでしょうか。アンケート用紙に各自が取り組みたい課題を3つ記入して提出しました。次回は、同じ課題の方がグループとなり、考えていくことになるようです。

地域のいろいろな立場の人との交流は、課題の共有と見方・考え方の違いを理解することができ、話し合うことによって新たな解決方法へと前進していけると感じました。



《葛西地区（長島桑川）》

「なごみの家 長島桑川」の第3回地域支援会議が2月17日（金）葛西区民館にて行われました。出席された方は、町会・自治会、医療・介護、警察・消防などの各関係者、民生児童委員、なごみの家登録ボランティア、その他のボランティアなど約40名でした。

課題は「なごみの家 長島桑川エリアでの要望・不安」についてです。要望・不安項目は生活支援・医療・介護・介護予防・住まいで、議題にそって意見を聞き、その後グループで発表を行いました。



クラブ活動 紹介

《花と語ろう！いけばなの会》

2月22日（水）鹿骨区民館で開催された「いけばなの会」に体験と取材をしました。草月流の基本立真型・盛花を手本として活けます。花器の左端に剣山をおいて、



- ① 真（しん）の枝を真っ直ぐに立て、左斜め前少し傾けます。
- ② 副（そえ）は①の枝より短くして真っ直ぐにさし、真の枝より左前に傾けます。
- ③ 控（ひかえ）は①、②よりさらに短く、右斜め前に倒れるくらい傾けて止めます。

この3本の主枝は開きすぎると間が抜け、閉じているとふくらみが欠けます。それから従枝に取り掛かります。今回は桃の花を中心に、マーガレット、フリージア、チューリップを使って5人の方々が活けていらっしゃいました。佐々木先生（介護10期）が花器・剣山・はさみ・水入れ・ふきんなど各自の分を用意して下さるので、身軽に参加できます。

男の方が一人だったので、インタビューしたところ、「（枝をはさみで切るなど）一瞬の技で決まるから面白い。緊張感がたまらない。」とおっしゃっていました。

体験は千円で良いとの事で、和やかでかつ花と真剣に向き合う得難いひと時でした。

定例会は月1回、第4水曜日1時半～3時 鹿骨区民館で開催されます。



《健康フラダンスの会》



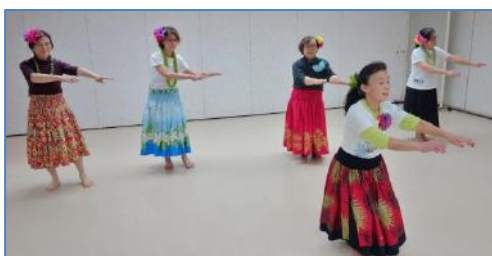
2月6日（月）と3月6日（月）の午前中、「健康フラダンスの会」（グループ名：ハイビスカス）が活動している一之江コミュニティ会館を訪問しました。

講師は染谷さん（子ども10期）です。フラは横の動きも多いので股関節が柔らかくなり、音楽に合わせて振付を覚えて踊ることで脳トレにもなるそうです。

まず初めにストレッチで体をほぐしたあと、基礎のステップのおさらい、そして軽やかなフラの曲に合わせて踊ります。1曲終わるたびに、手や足の動きを1つずつ確認していきます。

手だけ、足だけとそれぞれにはちゃんと動くのですが、手足を一緒にすると「なんだか変？」となって、皆で何度も大笑いしました。参加者の皆さんは「笑うのも体にいいのよ」と楽しそうにレッスンを続けていました。

活動は原則、月2回（月曜日10時～12時）ですが、会場予約の都合により、月1回から3回と不規則の場合もあります。受講者は皆さん初心者で、楽しく、優しく指導していただけますので、あとからの参加も大歓迎です。ハワイの風を感じたい方、軽く体を動かしたい方、見学だけでも結構です。お気軽にご参加ください。



2017 New Year コンサート

1月22日(土) 人大ボラ連登録団体の江戸川室内合奏団主催 New Year コンサートが小岩アーバンプラザホールで開催されました。「春の声」などで始まり、リコーダー合奏の「浜辺の歌」、「故郷」などの日本の歌メドレーで春の訪れを感じました。

女性合唱による「糸と麦の歌」、「うぐいす」などの美しい歌声は初日の出と正月の澄んだ青空を思い浮かべました。

ミュージックベルによる「アベマリア」、ロシア民謡の「黒い瞳」などの演奏は百個ほどのベルの連打と音色で迫力たっぷりでした。

最後に登場した江戸川室内合奏団の世界をめぐる名曲シリーズ、「ラ・クンパルシータ」、「イエスタデイ」、「花」などの演奏で2時間の素適なコンサートでした。



東日本大震災支援チャリティーコンサート～日本の音絵巻～

3月3日(金) タワーホール船堀の小ホールで、国際交流エドガワにより「日本の音絵巻～和楽器と舞～」のコンサートが開催されました。オープニングは尺八伴奏で「雨ニモマケズ」の朗読でした。朗読した方がその後司会進行をされて、理解を深めてくれました。第一部は～日舞と尺八の共演～、まっ白な着物で「飛鳥」と「鶴女房」の日舞をあでやかに披露してくれました。「郷音(さとね)」は尺八の二重奏で、東北の自然を偲ばせる悲しい調べでした。

第2部の～東北の風舞～、去年10月結成した紅音(Akane)の5人のメンバーによる尺八・歌・剣舞・シンセサイザー・エレキギターの共演でした。メンバーは東北と都心に分かれている関係で、公式練習は2回だったとか。10曲を演奏し、会場をひとつにして、拍手の渦が沸き起こり、これからの活躍が大いに期待される若者グループでした。最後にHaru-no-umiをアンコール演奏してくれました。



《編集後記》

同窓会活動が10年目に入りました。1面の会長記事にもありますように、同窓会として10周年を記念した企画を検討しています。また、活動内容の充実とあわせて、これからの同窓会をどう進めていったらよいかを考える年にもなりそうです。新たな10年に向けて、「同窓だより」も、より良い紙面づくりに努めていきます。

《第10期広報部会》

飯田和江(介7)、伊藤武(介6)、榎本清一(介9)、衣川章嗣(まち9)
佐々木康次郎(介10)、古久保和美(国8)、山内康(子11)

「同窓会だより」は皆さんの会費で作っています。